

青森県政 REPORT Vol.6



県議会報告にあたり、つるがや貴の決意

2024年は、元日の能登半島地震や翌日の羽田空港での衝突事故発生など波乱の幕開けとなり、被害にあわれた方々へお見舞いを申し上げますとともに、政治家として、改めて常に緊急事態への備えを怠らず、皆さまの日常生活をしっかりと守るという使命を再認識しております。

私は今年も『皆さまのお声をお聞かせください』をモットーに、日々の政務活動や365日の街頭活動はもちろん、県政報告会開催や県政レポートの発行、SNSなどでの情報発信に努めてまいります。

今回の県政レポートを通じて、私が取り上げている問題をご覧いただきご意見などをお寄せいただければ幸いです。

ネット・SNSでの情報発信にも力を入れています！
ぜひ覗いてフォローをお願いいたします♪



公式HP



X (旧Twitter)



Facebook



YouTube

【お問い合わせ先】つるがや貴 TEL：070-1140-0189

青森県議会議員

たかし
つるがや貴



県議会報告 ～第316回定例会～（令和5年11月22日～12月8日）



青森県の障がい者雇用について

- ①障がい者雇用率の現状は？
- ②雇用促進への取組みは？
- ③採用後の支援と改善は？
- ④今後の方針は？



答弁（副知事）

- ①令和5年6月1日時点での青森県職員における雇用率は2.93%と法定雇用率である2.6%を上回り、過去5年間で徐々に増加している。
- ②職員採用試験の対象を身体的障がいのある方に加え、知的・精神的障がいを持つ方にも拡大したほか、試験時の手話通訳者の配置など受験環境の改善も図っている。
- ③障がいを持つ職員からのフィードバックを毎年収集し改善点を把握しつつ、人事課に相談窓口を設置し要望や相談等に対応。個々の状況に応じた執務環境整備や事務分担に配慮している。
- ④これらの取組みを継続し、段階的に障がい者雇用率向上を図っていきたい。



いじめ・不登校対策について

- ①いじめ・不登校の現状は？
- ②県教委の支援や取組みは？
- ③文科省の緊急対策パッケージへの見解は？



答弁（教育長）

- ①令和3・4年度の公立学校でのいじめは増加傾向にあり特に小・中学校での増加が顕著。不登校の児童生徒は公立小・中学校および県立高校で増加傾向にある。
- ②24時間子供SOSダイヤル等の設置をはじめ、スクールカウンセラー等の派遣、専門職員によるネットパトロールなどを実施。また、小中学校の交流活動や教員向け研修、不登校児童生徒の支援の在り方を検討する有識者会議設置などに取組んでいる。
- ③県教育委員会として、多様な学びの場の提供や不安・悩みを抱える子どもや保護者への支援策の情報提供を重視し、相談窓口の周知や相談活動の充実を図る方針である。



児童虐待の防止について

- ①児童虐待相談対応件数の増加をどのように認識している？
- ②増加についてどのように対応していくのか？



答弁（健康福祉部長）

- ①令和4年度の県内での児童虐待相談対応件数は2,039件と過去最多。虐待防止への周知の奏功や児童自身や警察・学校等の関係機関からの通報増加が背景にあり多くのケースで初期段階での対応が可能となり深刻化防止に繋がっている。
- ②児童虐待防止に関する周知活動を継続しつつ、より多くの児童が相談しやすい環境の提供を行っていく。また、児童福祉司・心理司の増員や嘱託弁護士・警察からの出向職員の配置などにより多様なトラブルへ対処可能な人員体制を構築し対応力を強化していく。併せて、児童相談所職員への職場内研修実施や県外研修への職員派遣により専門知識と対応能力の向上を図る方針である。

一般質問における
つるがや貴の重点要望

不登校の児童生徒に対しては誰かと繋がっているという気持ちを持ってもらうことが重要であり、方法論の一つとして、民間のフリースクールへの補助・助成制度を創設するように強く要望しました！



県政報告会を開催します

～2月・3月と連続で開催します！～

日時：【2月】令和6年2月19日（月）18：20～
【3月】令和6年3月 8日（金）18：20～
場所：弘前市総合学習センター（弘前市末広4-10-1）
【2月】2階 視聴覚室 【3月】3階 第一研修室

ぜひご参加
ください！

